

7月8日

熱き戦い！ 岩美高校野球部の挑戦



今年も高校球児の熱い夏がやってきました。鳥取市のヤマタスポーツパーク野球場で、岩美高校野球部は初戦で米子西と対戦しました。試合はまさに一進一退の攻防戦でした。



初回、そして2回、互いに一步も譲らない激しい戦いが繰り広げられました。しかし、3回に2点を奪われた岩美高校は、その後6回まで守りを固めつつも、果敢に攻め続けました。得点圏にランナーを置きチャンスを作りましたが、相手の守備に阻まれ、点を上げることはできませんでした。しかし、選手たちは最後の9回まで一丸となり、決して諦めることなく全力を尽くしました。

敗れはしたものの、常に挑戦者の気持ちを忘れず、ミスを恐れずにプレーする姿勢からは、彼らの日々の練習の努力と情熱が伝わってきました。



試合終了後、野球部主将の岩谷君は、炎天下の会場で応援してくれた保護者やサポーター、吹奏楽部、応援団、引率の先生たちに感謝の言葉を送りました。そして選手たちは涙を浮かべながら試合を振り返りっていました。3年生にとっては最後の試合となりましたが、試合後には後輩たちと語り合い、彼らの思いをしっかりと伝えていました。

今後も努力を惜まず、チームの信頼関係を磨き一致団結して、素晴らしいプレーを見せ続けてくれることでしょう。

岩美高校野球部の挑戦は続きます！

6月21日 女子バレー部・陸上部・ウェイトリフティング部が岩美町長を表敬訪問

5月に行なわれた、鳥取県高校総体と、中国総体の成績の報告と、インターハイ出場の意気込みを報告するため、女子バレー部、陸上部、ウェイトリフティング部の生徒が、岩美町役場へ表敬訪問をしました。

長戸岩美町長、岩美町議会の足立議長、岩美町教育委員会大西教育長より激励のお言葉をいただきました。

生徒たちは、次の試合に向けてさらなる飛躍を誓いました。皆さん応援よろしくお願いします。

鳥取県立
岩美高等学校瓦
版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和6年6月・7月～

第
7
号岩美高校
ウェブサイト学校ウェブサイトアクセス
すると更に詳しい情報をご覧
いただけます。

6月13日 1・2年生の総合的な探究の時間 岩美を知る！校外フィールドワーク・校内ワークショップを実施



6月6日と13日の2回にわたり、1・2年生を対象とした総合的な探究の時間で、校外フィールドワークと校内ワークショップを実施しました。岩美町で活躍する企業や個人の方々のご協力を得て、生徒たちは実際の仕事現場を訪れたり、興味深いワークショップを体験したりすることができました。めったに見ることのできない仕事現場の見学や仕事体験、地域の方々と一緒に創作活動など、多岐にわたる内容で、生徒たちはこれらの体験を通じて、地域に対する理解を深めるとともに、積極的に学びに取り組む姿勢を育んでいます。

生徒たちは、普段と異なる環境での授業を楽しみながら、地域の方々と交流することで、多くの学びを得ることができました。

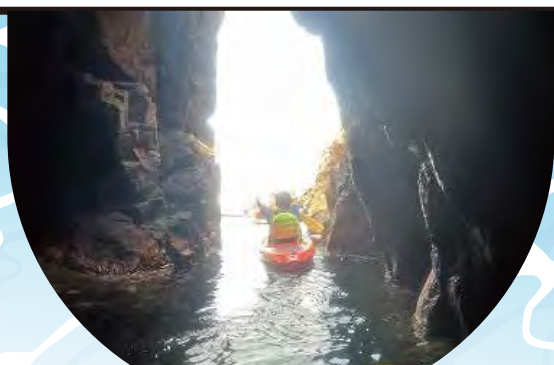
今回のフィールドワークとワークショップで得た経験は、生徒たちが今後の探究活動においてさらに深く岩美町の特徴を理解し、課題を見つけていくためのヒントとなるでしょう。

ご協力いただいた企業・個人の方々に心より感謝申し上げます。

6月11日

海辺の学習がスタートしました！

海辺の学習が始まりました。
3年生スポーツ類型の選択者 14 名が、岩美高の特色あるこの授業を満喫しています。
今年も、鳥取自然体験塾の長谷川さんが指導を行ってくださいます。
海辺の授業には、シーカヤックとシュノーケリングがあり、最初のセッションはシーカヤックです。
生徒は、昨年より学習をしているので、パドルの使い方はしっかりマスターしています。
準備体操をした後は、長谷川さんに続いて次々と水の中へ入っていました。
第一回目は、鳥取市の多鯰ヶ池で行ないました。
池の深さや周囲の距離、途中にみられる植物などの説明を長谷川さんに指導いただきつつ、生徒は、周囲をぐるりとまわり、出発地点へ戻ります。
波のない池での実習では、一列になって競争を行うなどして、自分たちの上達を実感している様子が見られました。
第二回目は、岩美町渚交流館のある牧谷の海岸から、東へ向かい岩と岩の間や洞窟に入るなど、エキサイティングなコースで実習しました。波の影響は少ないものの、池の実習とは異なり、力強い海のエネルギーをボートの下から感じることができました。
海辺の学習を通じて、生徒たちは岩美の自然に感謝し、触れ合い学んでいます。



6月12日 3年生「農業と環境」 4年ぶりの田植え実習： 農業と食の大切さを学ぶ

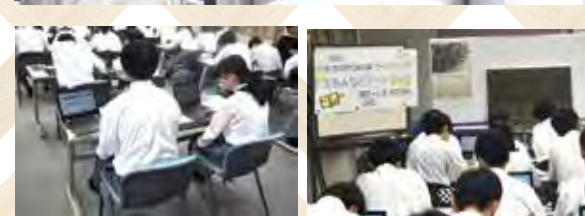


本日、町民グランド近くの水田で、農業と環境の授業の一環として田植えが行われました。4年ぶりの実施となるこの実習は、晴天に恵まれ、絶好の田植え日和となった一方、熱さ対策も必要なほどの気温でした。
指導を担当して下さったのは、いわみ農産代表取締役の谷口さん。谷口さんの指導のもと、生徒 18 名はまず田植えの方法を学び、その後、事前に整備していただいた田んぼに素足で入っていきましました。
泥に足を取られそうになりながら進むのは大変で、生徒たちは戸惑いながらも、次第に慣れ、一列から二列ずつ苗を植えていきました。泥の中に入る独特の感覚に驚きながらも、一生懸命に取り組んでいました。
谷口さんは「日本人の主食であるお米ができる過程を知ること、食の大切さやありがたさを実感してほしい。一日一食はしっかりとお米を食べてほしい」と述べられました。

この体験を通じて、生徒たちは田植えがいかに大変な作業であるかを実感し、食についてより一層の興味と関心を持つことでしょう。そして、自分たちが植えた稲を 10 月に収穫する実習も予定されています。



7月19日 山本修司氏による特別講義：岩美現代美術展ワークショップ開催



本日、芸術家の山本修司さんを講師にお迎えし、「アートシーンの歴史」をテーマに特別講義が開催されました。山本さんは、歴史上の著名なアーティストたちを紹介し、生徒たちはタブレットを使ってそのアーティストの作品やプロフィールを検索しながら、深い知識を身につけていきました。
山本さんのワークショップのユニークな点は、講義前に生徒一人一人に A4 サイズの和紙を配布し、講義中もその和紙に「落書き」やタブレット検索を自由に行えるというスタイル。
通常、「落書き」は怒られる行為とされていますが、歴史上のアーティストたちは「落書き」のように好きなことをとことん追求し、成長していったという背景から、この講義はそのコンセプトを体験させる目的で進められました。
最初はあまりに自由な授業に戸惑いを見せていた生徒たちも、次第にリラックスし、楽しみながら学んでいる様子が見受けられました。

7月20日 きなんせ岩美開業9周年イベントで吹奏楽部演奏

岩美町の道の駅きなんせ岩美の周年記念祭で、岩美高校吹奏楽部 Blue Martin Jazz Orchestra が演奏をしました。
土曜日の朝 10 時からの演奏に、来店されたお客様方が足をとめ耳を傾けてくださいました。合計 4 曲と途中の MC を含めて約 30 分の演奏でした。
地元の施設で演奏する機会をいただいたことに、部員たちも喜びを感じている様子で、得意の曲を披露し、満足感に満ちた表情が印象的でした。
音楽の力で地域を盛り上げる岩美高校吹奏楽部にご注目ください。



7月3日 3年2組のスポーツⅤ授業での「ど根性植物」研究発表



本日の 3 年 2 組の野外活動について学ぶ、スポーツⅤの授業では、1 学期に取り組んだ「身近に生息するど根性植物」の研究発表が行われました。
普段通っている通学路や校門にひっそりと生息する植物たち。雑草と言えばそれまでですが、じっくり観察して調べると、たくましく生きる姿が美しく見えてきます。生徒たちは 1 人 1 つの植物について発表を行いました。その植物を選んだ理由などが興味深く、初めは「汚い」というネガティブな印象から調べ始めた生徒が、発表を終える頃には「友人にも教えたい」とその植物への見方が変わっている姿が印象的でした。
花言葉を調べた生徒もあり、見た目と異なるロマンチックな花言葉を持つ植物もいることが分かりました。この探究学習での授業を通じて、植物の面白さとたくましさ、尊さを感じ取ることができたようです。

6月14日 町営塾ハローイワッツが今年もスタートしました！



今年も、町営英語塾ハローイワッツが開講しました。初回の今日は、岩美町教育委員会の大西教育長にもご出席いただき、開講に際して心温まるメッセージをいただきました。

大西教育長は、20 年前に訪れたロンドン旅行の思い出を語り、荷物を運んでくれたホテル従業員との些細な会話がきっかけで自信を持ち、一人で新聞を買ったり、レストランで注文したり、ミュージカルを見に行ったりと、次第に行動範囲が広がった経験をお話してくださいました。「外国語を学ぶことで、その国の文化にも触れ、世界を広げていくことができる」と、学びの重要性を強調してくださいました。



今年は、1 年生 3 名、2 年生 10 名、3 年生 3 名の計 16 名が参加し、昨年も増して賑やかなスタートを切ることができました。講師は昨年度と同様に、岩美中学校の ALT ゲイブさん。そして、岩美高校 ALT ジャックさんも参加してくれます。毎回異なるテーマに基づいた会話中心のレッスンを行ないます。

初回のレッスンは自己紹介から始まり、本日のテーマ「Why do you study English?」に沿って、それぞれの理由を英語で発表しました。この町営英語塾で、多くの英語表現を学び、使える英語を目指して取り組んでいきます。

7月26日

岩美町 町営塾「夏の HOPE」開講！

今年も、町営塾「夏の HOPE」が 7 月 23 日（火）、24 日（水）、26 日（金）の 3 日間にわたって開講され、進路実現を目指す生徒たちが集まりました。

初日の開講式では、岩美町教育委員会の大西教育長より、「令和 2 年から始まったこの HOPE は、年々参加者が増え、実績も上がり充実しています。岩美町は地元の岩美高校を応援しています。この講座の名前 HOPE は、夢や希望を象徴しています。どうかこの 3 日間、自分の HOPE に向かって全力で取り組んでください。」と力強いメッセージをいただきました。

この講座は、岩美町の全面的サポートのもと、問題集から現役大学生の指導まで充実した内容が提供されます。目指すは自己の進学実現に必要な学力向上、そして自主的かつ計画的に学習する力をつけることです。3 日間を通して、日々の生活や学習態度を見直すきっかけとなることでしょう。



各日替わりで異なる大学生が講師として参加し、午前中は 3 日間とも自学自習型のセミナーの後、現役大学生から受験勉強のコツや大学生活の実情についての講話が行われました。特に 1 日目の午後は大学生とのディスカッションが盛り上がりしました。

2 日目と 3 日目の午後は、小論文講座が開催され、実際の過去問に挑戦しながら、時間内に必要な文字数の小論文を書く学習が行われました。丁寧な指導のもと、生徒たちは真剣に取り組みました。進路実現は夏休みが勝負。3 日間の講座を活かして、これからも努力を続けていきましょう！

7月16日 前期球技大会、頂点を制したのは・・・



本日は、前期球技大会が行われました。種目は、男女ともバスケットボール。男女共に 5 人制のチームで予選リーグから決勝トーナメント方式で進行了。試合時間は 5 分と短いながらも、緊張感と興奮が詰まった白熱のバトルが繰り広げられました。



大会の準備と運営を担当した生徒会執行部のおかげで、試合はスムーズに進んでいきました。男女とも接戦を繰り広げ、結果は男子 3 年 1 組 A チーム、女子 1 年 1 組 A チームが優勝を掴みました。

7月26日

ALT ジャックさんのご家族来校



本日、ALT のジャックさんのお母さんとお兄さんが、アイルランドからはるばる岩美高校を訪れてくれました。

彼らは東京や大阪などを巡り、鳥取へ到着。校長室では辻中校長と共に旅の思い出等を語り合いました。辻中校長の案内で校内を見学すると、初めての日本の高校に大いに興味を示されていました。

彼らはその後、松島遊覧船や浦富海岸での海水浴を楽しみ、岩美町の美しい自然も満喫されました。この訪問が、素敵な夏の思い出となりますように。

7月8日

2年生福祉系 福祉レクリエーション講習会



幼児や高齢者、身体の不自由な方と一緒に楽しめるレクリエーションの技術を学ぶ講習会を、2年生の福祉系生徒9名を対象に、介護福祉基礎の授業の一環で、6月と7月に行いました。

鳥取社会福祉専門学校 専任講師の鎌谷さんを講師に迎え、本校の福祉実習室で行いました。「レクリエーションとは、心を元気にすること。レクリエーション支援では、自分の意志を一方的に伝えるのではなく、同じ目線に立って、お互いに気持ちを通い合わせるということが大切」と鎌谷さんは強調されました。

気持ちを通い合わせるために一番大切なのは、「笑顔」。初めてのレクリエーション研修にちょっと緊張している生徒の表情を和ませるため、「微笑みエスカレート」というゲームで、どんどん笑顔になっていくゲームを取り入れながら、授業は、リラックスした雰囲気となっていました。

場や雰囲気を和ませることも、レクリエーションの大切なポイントだということを生徒たちも学習できた様です。



そして、いよいよ本格的な手法の研修。

まずは、アイスブレイキング。会が始まってすぐに、会場を和ませるためにとても有効な手法です。手拍子をしたり、足ふみをしたり、歌をうたったりと、簡単かつ身体を使う活動で、緊張もほぐれ身体と脳に力が入ってきます。



みんなの表情が生き生きしてきたところで、チーム対抗のゲームも行われました。「すき焼きジャンケン」は、じゃんけんで勝ったチームが、すき焼きの材料が描かれたカードを引き材料を集めていくゲーム。出てくるカードによって、お肉たっぷりの豪華鍋になったり、野菜ばかりのヘルシー鍋になったりと、生徒たちも楽しんでいました。



「さいころ数字消しゲーム」は、大きなサイコロ2つを使い、出た目に応じて、12マスの数字を消していきます。数字を効率よく消していくために、チームで作戦を練るため、会話も弾みます。どちらのゲームも、声かけや合図、拍手をタイミング良く入れながら進められました。

対抗戦ではありますが、個人の能力によって、勝敗が決まるものではなく、その時の運が勝敗を決めるのがポイント！また、お互いにポジティブな言葉を掛け合い、感謝と笑顔を忘れずに進めることが大切と学びました。

これらの講習内容をもとに、今後生徒たちは、アイデアを出し合い、楽しいレクリエーションを企画していく予定です。

7月12日

3年生 探究学習成果発表会開催



本日、岩美町中央公民館いわみんホールで、3年生の探究学習成果発表会が行われました。3年生たちは、3月に行われた中間発表からさらに研鑽を積み、本日の発表に臨みました。

地域の協力者の方々もお招きし、10時から12時までの間、13班が発表を行いました。テーマは、「捨てられるものを使って」「岩美町に子どもが集まるためにみんなで住もう岩美町」「岩美町の観光地を回ろう」「岩美町の空き家を活用し隊」「高齢者の運動について」「岩美町の防災について」「海で楽しむ」「浦富海岸（海とどみ）について」「フレッシュいわみ」「シーカヤック体験」「松葉ガニ」「貝で芸術作品を作る」「マコモダケを発信しよう」と、多岐にわたる内容でした。

地域の課題に対する解決策を探るために、専門家との対話や現地調査を通じて得た知見を元にした発表は、高校生たちが真剣に地域課題に取り組んできた様子がうかがえる素晴らしいものでした。



全てのプレゼン終了後、鳥取県教育委員会事務局高等学校課の定常指導主事より講評がありました。

「新しいものを生み出すことが探究学習の肝です。その過程で新しい知識を得るほど、さらに知らなければならないことが増える。この経験や気づきは大きな成果の1つです。高校生のアイデアを地域の方々が汲み取り、高校と地域が協力し合い発展していく過程が、本日の発表会で感じられました。」との言葉が印象的でした。

地域と共に成長する岩美校生たちの探究はこれからも続きます。

7月10日 3年生：就職ガイダンスで自己を磨く

7月に入り、卒業後の就職を目指す生徒たちは本格的に応募先を決定する時期を迎えました。社会人としての心得や労働の意義を深く考えながら、就職面接でのマナーや表現力を向上させるため、3年生を対象とした、就職ガイダンスが開催されました。

今回のガイダンスでは、組織活性人材コンサルタントの上田さんを講師に迎え、午前10時から午後4時まで実践練習を含む充実した内容で行われました。



最初に、ガイダンスの目的を明確にし、今後の就職活動のスケジュールを確認しました。次に、第一印象の大切さを学び、表情や身だしなみ、挨拶や気遣いといった基本的なマナーの重要性を再認識しました。

また、「社会・仕事を知る」というテーマのもと、楽しい活動を通じて、自分が会社の重役ならどんな人材と働きたいかを考えました。グループに分かれて架空の会社を作り、その中で一緒に働く理想の人材を思い描きました。

午後からは、自己紹介文の作り方を学びました。

学校生活を振り返りながら自己理解を深め、自己紹介と志望動機の作成に取り組みました。

後に、面接練習を行い、入室から自己紹介、退出までの一連の流れを、細かな所作にも気を配り体験しました。

本日のガイダンスは、今後の活動の大きな糧となることでしょう。生徒たちは自信を持って次のステップに進む準備を整えました。



6月20日 3年生対象 実践的面接対策セミナー開催！

本日、3年生を対象に実践的な面接対策セミナーを行いました。

志望する進路別に、大学・短大の総合型選抜や学校推薦型選抜の入試対策、専門学校については看護・医療・福祉・介護、理美容等の分野別の入試対策、就職の際の採用選考の心得について、お話をうかがった後で面接実技練習を行う形で実施しました。

進路希望別に会場を設け、専門講師の方から、面接試験で失敗しないための対策を学び、模擬面接を取り入れた実践練習もしました。

3年生はいよいよ進路決定に向けての動きが本格化するとあって、メモを取りながら真剣にお話を聞いていました。面接実技練習では、緊張した様子でしたが、講師の先生方からアドバイスをもらい、とてもよい面接練習ができました。

ご指導いただいたみなさま、ありがとうございました。



7月25日 岩美高校の魅力満載「体験入学」開催



本日、「体験入学」が行われ、約100名の参加があり大変盛り上がりしました。

午前9時から始まった全体会では、岩美高校の教育方針についての説明が行われました。岩美高校のマスコットキャラクター「イワッツ」も登場し、和やかで楽しい雰囲気の説明会となりました。

そのあと、各会場にわかれ8科目の体験授業が行われました。いずれの授業も参加生徒の興味を引く内容となり、実際の高校の学び舎での授業を楽しんでいる様子でした。



体育：スポーツ概論



商業：コンピュータ演習



家庭・福祉：介護と製菓について学びましょう



国語：言葉に親しむ、言葉で遊ぶ



数学：校舎の高さを測ろう



地歴：甲子園までの道のり



理科：手のひらで爆弾！



英語：Let's enjoy English!

体験授業の後は、部活動体験を楽しむ時間となりました。



硬式野球部



陸上競技



卓球



バドミントン



男子バレーボール



硬式テニス



吹奏楽



手話



ESS

7月21日 地域みらい留学フェスで、岩美高校の魅力をPR！



岩美高等学校は本年度から地域みらい留学プログラムに参画し、県外生の受け入れを開始しました。この新たな取り組みを通じて、岩美高等学校の魅力を全国に発信しています。

地域みらい留学受け入れ高校は全国に145校あり、これらの高校が一同に会するイベントが東京（6月29日・30日）と大阪（7月20日・21日）で開催されました。東京会場では、2日間で588組の来場者が訪れ、その中で岩美高等学校のブースには37組が足を運んでくださいました。大阪会場でも2日間で332組の来場者があり、24組が岩美高等学校のブースを訪れました。

ブースを訪れてくださった保護者や生徒たちは、岩美町の美しい海や岩美高等学校の特色ある授業に強い関心を示していました。限られた時間の中で、丁寧に案内でき、とても実りのある説明会となりました。

7月5日 夏季壮行会：県大会とインターハイ出場の生徒を激励

本日、県大会に出場する硬式野球部と、インターハイに出場する女子バレーボール部、ウエイトリフティング部、陸上競技部の選手壮行会が行われました。はじめに、全校生徒を代表して、生徒会長の内田くんが、「日々の練習の成果を発揮して頑張ってきてください。良い結果が聞けるのを楽しみにしています。」とあいさつしました。

続いて、三好教頭が「岩美高校は大きな規模の高校ではないが、3競技4種目でインターハイに出場できるのは、誇らしいことです。みなさんの日々の努力あつてのことです。よくがんばりましたね。皆さんをささえてくれている、家族や地域の方々、先生方への感謝の気持ちを忘れずに、全力を尽くして戦ってきてください。」と激励の言葉を送りました。



次に、出場する部活動が、一言ずつ挨拶をしました。

県大会に出場する硬式野球部 主将岩谷くん

「7月8日に、ヤマタスポーツパークで、米子西高校と対戦します。悔いの残らぬようにプレイしてきますので、応援よろしくお願いします。」

インターハイに出場する女子バレー部 部長 福島さん
「7月25日に大阪代表 大阪国際高等学校と対戦します。私たちの目標は、予選リーグを必ず突破し、トーナメント戦で1つでも多く勝ち進むことです。いつも支えてくださっている地域の方や先生方の期待に応えられるよう、最後まで精いっぱい頑張ってきます。」



インターハイ出場 ウエイトリフティング部 山本くん
「8月4日に長崎県で行われる大会に出場します。応援してくれる皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、自己ベストを目指します。」



インターハイに出場する 陸上競技部 中塚くん
「7月26日に福岡で行われる大会に、円盤投げとハンマー投げで出場します。自己ベストと決勝めざして頑張ります。」

どの部活動も力強い意気込みを語ってくれました。
勝敗ももちろん重要ではありますが、皆が全力を尽くし、悔いなく競技を全うすることを期待します。

7月3日 教職員対象救急救命講習



本日は、岩美消防署から4名の講師をお招きし、教職員対象の救急救命講習会が実施されました。

この講習会は、実践演習を通じて、緊急時に迅速かつ適切な対応ができるようにすることを目的に行われました。

まず、人形を使って正しい心肺蘇生の方法とAEDの使い方をグループに分かれて練習し、その後、事故発見から救急隊が到着するまでのシミュレーションを、実際の現場さながらに行いました。

心停止後の3～4分以内に心肺蘇生を開始すれば、生存率や社会復帰の可能性が大幅に高まり、そのため、早い措置が重要です。この講習会では正しい知識を持ち、積極的に動ける勇気を持って迅速に行動できるよう認識を深めました。

その後、木村養護教諭によるアレルギー疾患の講習会も行われました。

アナフィラキシーの症状が現れた際の対応についても学びました。



7月17日 助産師を講師に迎え、性に関する講演会を開催



本日、1年生を対象に「性に関する教育講演会」が行われました。講師に助産師の平井さん、大江さん、本家さんをお招きして、「3つの命を守る～私の命・あなたの命・そして・・・～」というテーマで貴重なお話をいただきました。

性感染症の種類や感染経路、予防策、感染時の適切な相談先、さらには望まない妊娠や避妊方法に至るまで、詳細かつわかりやすく説明していただきました。ホワイトボードに描かれた手作りのキャラクターや図解は、生徒たちの理解を深め、興味を引くものでした。愛情と心がこもった指導に、生徒たちは真剣に耳を傾けました。

デリケートな問題にしっかりと向き合い、性教育の重要性についての認識を深めることができたこの講演会は、生徒たちにとって非常に貴重な時間となりました。自分と相手の命さらに、生まれてくるもう一つの命の重さを感じるとともに、性感染症の正しい知識を学び、適切な行動を選択する意識を高めるきっかけとなったようです。

7月22日 1学期終業式

本日、1学期終業式が体育館で行われました。

辻中校長は、式辞の中で4月からの生徒たちの成長に触れ、次のように語りました。

「始業式では、自分をもっと好きになろうというお話をしました。悩んだり苦しんだりしてがんばっている自分を好きになれたら、今よりも強い心をもつことができます。4月から本日までの4か月間、みなさんの挨拶や授業態度を見てみると、落ち着いていて成長を感じることができます。今度は、さらに成長するために、自分だけではなく、家族や友達、部活動の仲間など、他人も好きになるように努力をしてみてください。人の悪いところを探すのではなく、良いところに目を向けられるように努力してみましょう。他人を認め好きになれるようになると、いまよりさらに成長できます。夏休みは、そんなことを意識して過ごしてみてください。」



次に、保健委員からは、暑い夏を快適に過ごすため、心とからだいきいきキャンペーン啓発活動の6つの中から、特に2つポイントについてアドバイスがありました。まず1つ目は、睡眠について。長い休み中はついつい遅くまでスマホやゲームをしてしまいがちですが、睡眠の1時間前にはスクリーンを離れ、読書などをするように心がけましょう。2つ目は、朝食について。お昼まで寝てしまい、朝食をとらないことはありませんか？朝食には、ビタミンやたんぱく質を含むバランスの取れた食事を摂るように心がけましょう。明日から、約1か月間の夏休み！長いお休みも有意義に過ごせるように規則正しく過ごし、また2学期に元気に会いましょう。

7月2日 令和6年度 岩美高等学校 第1回学校運営協議会をおこないました。



令和6年度の第1回運営委員会が開催されました。新たに3名の委員を迎え、17名の参加となりました。

辻中校長から、今年度の学校経営計画や本校の目標、取り組みについて詳しい説明があり、意見交換では、委員の皆さまから、活発な意見や感想が飛び交いました。特に、地元自治体や地域との連携を深める探究学習や、岩美町ならではの特色ある授業についての意見が多く寄せられ、本年度の方針に期待が高まりました。議会は和やかなムードで進み、新しい建設的なアイデアも多く話されました。忌憚なく助言をいただける雰囲気が、岩美高校の運営委員会の特徴です。岩美高校のさらなる飛躍と、生徒の笑顔あふれる教育活動の実現に取り組んでまいります。今年度も学校運営協議会の委員の皆さま、どうぞよろしくお願いします。